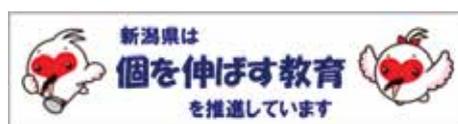
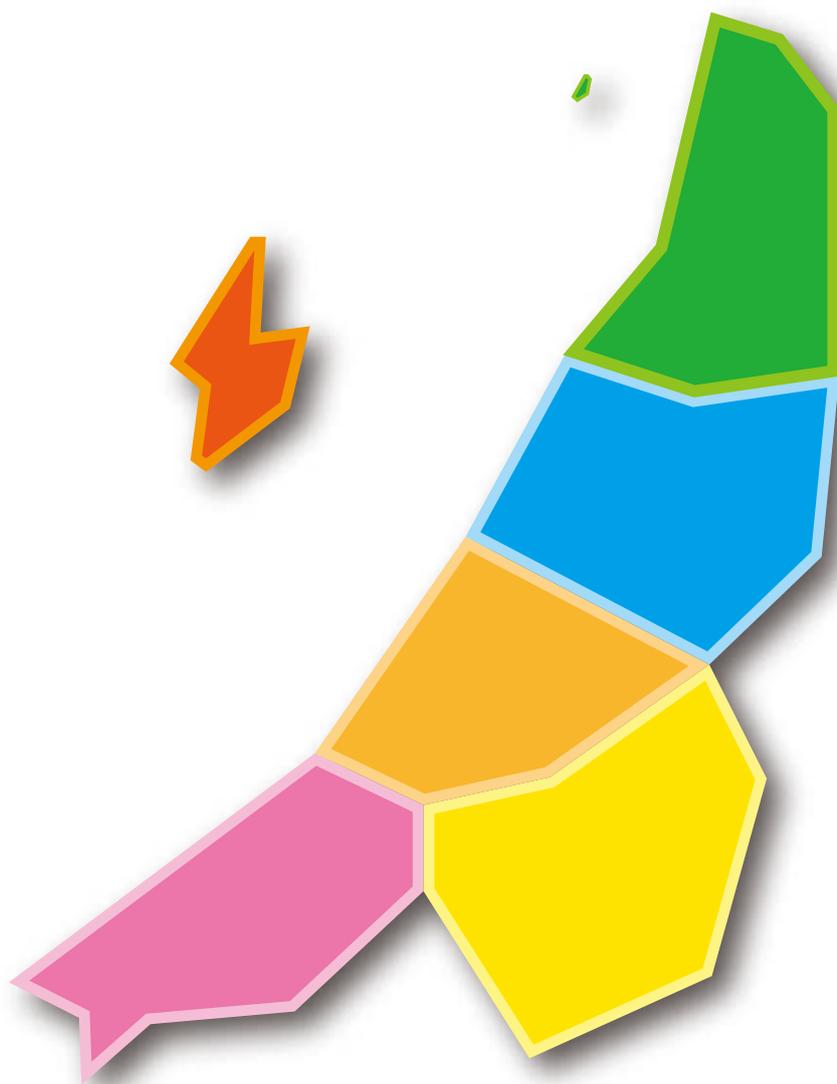


県立高校の将来構想

— 中長期を見据えた魅力ある学校づくり —



平成28年3月
新潟県教育委員会

平成28年3月、県教育委員会では「県立高校の将来構想」を策定しました。

人口減少や社会の急激な変化が進む中、本県では、生徒一人一人の能力を最大限に伸ばすより良い教育環境の整備と、将来の新潟を担う人づくりが求められています。

このため、これからの高校教育の充実を目指す魅力的な学校づくりの方向性をまとめた「県立高校の将来構想」を策定しました。

※本構想における「県立高校」には、県立中等教育学校後期課程を含みます。

● 3つの基本方針

本構想では、次の3点を基本方針としました。

- ◇ 様々な分野で活躍できるグローバル人材を育成する教育の推進
- ◇ 県外の生徒も学びたくなる魅力的な学校づくりの推進
- ◇ 地域との連携を深化させた人づくりの推進

● 適正な学校規模

高校では、いろいろな人とふれ合う中でコミュニケーション能力を身に付け、仲間と協働しながら様々な課題を解決していくことが大切です。

1学級あたりの生徒数を40人とし、適正な学校規模を1学年あたり4～8学級として、教育の質的な向上と学校の活性化を図ります。

メリット

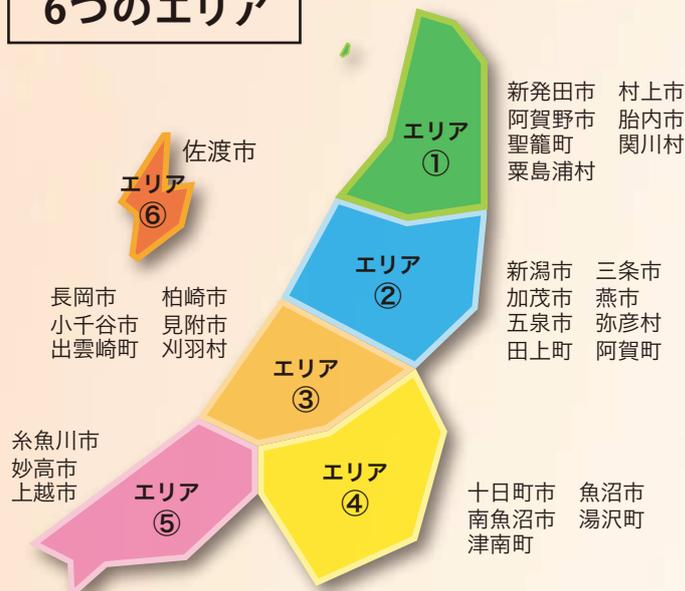
- ・ 多様な人間関係の中で切磋琢磨する機会が増える
- ・ 一人一人の興味・関心や進路希望に応じて選択できる科目が増える
- ・ 多様な部が設置でき、部員数も多くなり、部活動が充実する

● 学校・学科の配置

県内を6つのエリアに分けて、中学校卒業生数や交通事情、地域の産業の状況等をふまえて、学校・学科の配置を検討していきます。



6つのエリア



●目指す高校のすがた

本構想では、目指す高校のすがたとして、本県独自に5つのタイプを設定しました。

高校の5つのタイプ

◇ 専門分野を探究する高校

専門分野を探究し、社会の第一線で活躍する人材を育成する高校です。

◇ 学科総合型の産業高校

複数の専門学科からなり、学科の枠を越えた学習も可能な高校です。

◇ 大学進学を重視した学究型の高校

より高いレベルの学びに向けて、ほぼ全員が大学に進学する高校です。

◇ 総合選択制の高校

普通科目とともに、専門的な知識や技能を学ぶ科目を選択できる高校です。

◇ 柔軟な学びを可能とする高校

一人一人の能力や適性にあわせて基礎的な内容から学ぶことのできる高校です。

これら5つのタイプの高校の中には、地域との連携をより深め、他にはない特色ある教育を実践する高校も想定しています。

地域と連携した特色ある高校

●将来構想における5つのタイプの高校の割合

平成39年春までに、「目指す高校のすがた」に示した5つのタイプの高校を順次設置していきます。

【平成28年度県立高校の募集学級数等】

※ 通信制課程は、募集学級数に含まれていません。

学科等 (学級数)	専門学科系 (90)	総合学科 (41)	普通科系 (245)	中高一貫 教育校 (15)	定時制 通信制 (18)	中学校 卒業生数 21,236人
割合 (%)	22.0	10.0	59.9	3.7	4.4	募集学級計 409
	32.0		63.6		4.4	

【参考】

新潟市立高校募集学級数計	13
私立高校募集学級数計	115

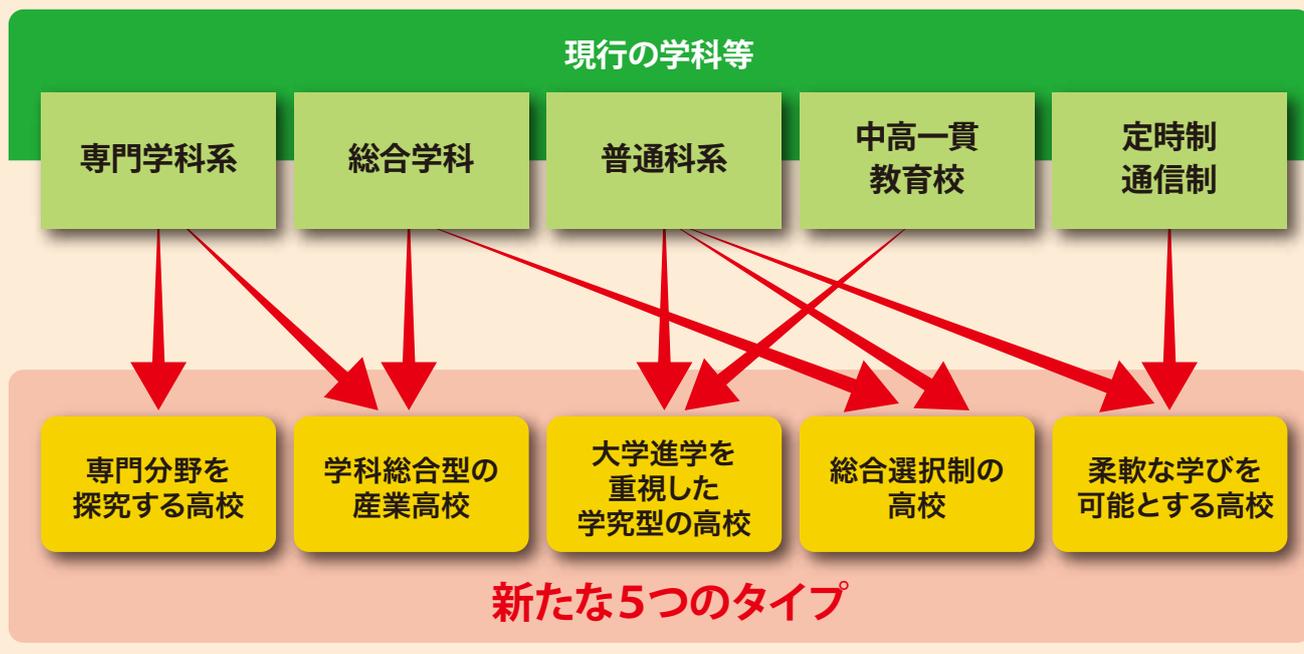
【平成39年春のすがた】

高校の タイプ	専門分野を 探究する高校	学科総合型の 産業高校	総合選択制 の高校	大学進学を 重視した学究 型の高校	柔軟な学びを 可能とする高校	中学校 卒業生数 17,790人
割合 (%)	15	10	25	45	5	募集学級計 330
	50			45	5	

※ 表中の割合は、おおよその数値です。

※ 平成39年の募集学級数は、市立高校と私立高校の募集学級数が128学級という前提で算定したものです。

【参考】 現行の学科等と新たな5つのタイプとの関係を表すイメージ図



●「県立高校の将来構想」Q&A

Q

「目指す高校のすがた」として5つのタイプを設定したのはなぜですか？

A

5つのタイプは、これまでの普通科、専門学科などの学科の区分にとらわれず、高校での学習内容や卒業後の進路状況等の視点で本県独自に分類したものです。今後、各高校は、求められる役割や特色を明確にした学校づくりを進めていくこととなります。

Q

自分が住んでいるエリアから他のエリアの高校に通うことはできないのですか？

A

6つのエリアは、通学区域ではありません。これまでどおり、どのエリアにある高校でも志願することができます。児童生徒の皆さんは、自分の興味・関心等に応じて主体的に学校を選択してください。

Q

現在の募集学級数が適正規模を下回る高校は、すべてなくなってしまうのですか？

A

計画期間が終了する平成39年度までに、適正な学校規模にしたいと考えています。しかし、他にはない特色ある教育活動を展開するため、あえて小規模とする学校もあります。

「県立高校の将来構想」には、エリアごとの構想も記載されています。詳しくは、県庁ホームページをご覧ください。

新潟県立高校構想

検索

お問合せ

新潟県教育庁高等学校教育課企画振興係

TEL:025-280-5614 FAX:025-285-7998

〒950-8570

新潟市中央区新光町4番地1